

52 南山大学 法学部 法律学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

受験生にとって大事なことは5つあると思います。

1つ目は「授業」。予習を必ずし、授業で自分の分からないところを見つけて、1つ1つ無くしていくことが大事です。そして先生の話をしっかり聞き、ノートに残し、あとで見直せるようにしてください。

2つ目は「質問」。分からないことがあったら、自分が頼りやすい先生や友達に質問してください。質問の中での先生や友達とのやりとりのなかで、得られるものがたくさんあると思います。

3つ目は「模試」。模試の判定なんて気にしなくていいです。模試を受ける意味というのは、本番の雰囲気になれること、今の自分はどれくらいの点が取れるのか知ること。そして一番大事なのは、面倒でも答えの冊子を読み、「復習する」ことです。模試のたびに復習をすれば、ある単語に対してどんな風に問題を出してくるか分かるようになります。

4つ目は「志望校」。まず学部についてですが、しっかり調べてから決めてください。でないと、合格したとしても後悔する可能性があります。志望大学については、模試の判定は気にせず自分が行きたい大学を選んでください。僕はE判定だった南山・愛大に受かり、A判定だった中京大に落ちました。合否は入試当日の問題の得意不得意など、いろいろな要素が関係してくるので、諦めず、目標は高くてもいいと思います。

5つ目は「計画性」。毎日少しずつ確実に一定の範囲を進めることが大事です。まだ緊張感が少ない4月にもコツコツと勉強を頑張りたいと思います。一日何ページとかを決めて、朝学や放課後、空いた時間などをフル活用して進めていってください。

僕から言えるのはこれくらいです。受験生の皆さん、頑張ってください！

53 南山大学 経営学部 経営学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

僕は3年生になるまで勉強をテスト週間以外はしないスタイルで2年間過ごしてました。もちろん、そんなので成績がいいはずもなく、2年最後の文Ⅰ、文Ⅱ選択では文Ⅱを希望したけれど、担任の先生に反対されて諦め、妥協で文Ⅰに進みました。ここから少しずつ意識が変わりました。部活が終わるまでは少しずつしか勉強できなかったけど、引退してからは切り替えて毎日学校に残るようにして、帰ってからも3時間は勉強時間を確保しました。だからといって成績はすぐ上がることはなく、1学期の期末テスト週間中に1番時間をかけた日本史すら順位は真ん中より下、むしろ、前より悪くなっていました。それは周りも勉強し始めていたからでした。でも一番の原因は、自分がどういう勉強法でやればいいのかを知らない、ということだと思いました。がむしやりに勉強しているだけでは意味がないことに気づき、そこで勉強の仕方を勉強しました。周りの友達や先生にどういうふうにやっているのか聞き、参考にしながら勉強しました。それから約1週間後の模試では突然日本史が上がりました。40位くらい上がっていました。日本史の勉強法がこのときやっと分かりました。でも他の教科は上がってなかったのもう一回勉強の仕方を見直しました。模試と学校のテストの結果が出るたびに、勉強方法の見直しを繰り返しているうちに、いつのまにか自分でも信じられないくらい力がついていました。最後の模試では日本史で満点をとれたし、最初はSVOCの意味さえわかっていなかった英語でも偏差値55をとれるようになっていました。その後のセンター入試、私大入試でも自分の得意科目のおかげで成功して、第一志望の大学に合格しました。

僕は1年、2年とで勉強してなかったことに、受験勉強中も後悔はしていませんでした。むしろ、今まで勉強してなかったからこそ、ここまでやれたのだと思います。常に思っていたことは「勉強してなかったことを後悔しないために今勉強しよう」でした。そのために、朝一番に学校に来て勉強し、授業後は先生にうんざりされるほど、質問にも行きました。志望校を高めにしていたため、最初のうちは周りからバカにされることもありましたが、見返してやろうと思いつつ勉強していた時も

ありました。どんなことでも自分の原動力にできたことが一年間勉強が続いた要因だと思います。気分の浮き沈みの激しい1年ですが勉強が続くようにがんばってください。

54 南山大学 外国語学部 英米学科合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

まず、受験につながる教科は、できるだけ早い時期にスタートした方がいいと思います。2年生になって世界史Aが世界史Bにかわり、直接受験と繋がるとわかっていたので、世界史Bの授業をしっかり受け、定期テストの順位はいつも1位を狙うつもりで勉強しました。そのおかげで、文1の人たちが受験勉強でかなり苦戦していた地歴は他の人よりは楽にできました。地歴はほんとうに覚える量が多いので早めに手をつけることが大切だと思います。

また、2年生から毎日少しずつ、英単語をやり始めました。初めは覚えられる気配が全くなかったのですが、3年生になる頃までに1周目を終え、徐々にわかるようになっていき、ほぼ分かるようになったのは3周目が終わった3年生の9月ごろでした。

英語は本当に時間がかかると思います。3年生になる春休み前から、文法を始めました。それもほぼわかるようになったのは、3周目が終わった3年生の9月頃です。毎日20問と決めて、必ず毎日、コツコツやらないと意味がありません。1日新しく20問と、前の日にやった20問の復習もしました。たとえ時間が余ったとしても、文法は1日新しく20問、復習20問だけです。それ以上やっても覚えられないので意味がありません。しかし、どれだけ眠たくてもやらなければなりません。これは文法だけでなく、世界史も英単語も古典単語も、すべてのことに言えます。私はすべて毎日やるページ数や問題数を決めて、時間がなくても余ってもそれだけをやり続けました。復習も必ずします。私が満足のいく結果を出せたのはこの勉強方法が全てだと思っています。たまに、ある日は10時間勉強したけど、ある日は1時間、などという人がいますが、本当に意味がないと思います。時間が余れば遊んでもいいし寝てもいいです。私はよく、勉強してなかったことない？と言われますが、必ず毎日少しずつやって、終わっていたからだと思います。

それから、英語のターゲットや、スクランブルと一緒にやっていたことは、単語帳をつくることです。知らない単語が出てきたり、覚えたはずなのに忘れていた単語や重要だと思うイディオムなどがあつたらすぐ単語帳に書き写します。単語帳は、最終的に1000枚以上になりました。それも、1日100枚ほどずつ授業中の問題が解き終わり暇になった時間や、バスに乗っている時や、とにかくちょっとした暇な時にやります。私はこれを学校のある日だけと決めていました。学校では、手持ち無沙汰になることも多かったです。常に肌から離さず持っていました。反復してやれば、必ず覚えられます。しかし、単語帳の時間を作るのは勿体無すぎるのでわざわざ時間を作る必要はありません。あくまで隙間時間です。もちろん授業も大事です。特に受験に必要な科目は必ず聞いてください。

1日決まったことをやればあとは何をしてもいいと言いましたが、センター直前はさすがにずっと勉強していました。英語の長文は毎日解かないとよめなくなりそうで怖いですし、過去問などいろいろなことをやっていました。ですが基礎を固めるうちは、とにかく毎日コツコツが大事です！簡単そうに思えて毎日同じことをやるのはかなりきついです。ですが本当に大事なことです。受験生活は地獄です！頑張ってください！！

55 愛知教育大学 初等教育教員養成課程 国語選修合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

私は高校一年の時から小学校教員になるために勉強をしてきました。私は一年生の頃から模試の成績がなかなか上がらず悩むことが多かったです。きっと皆さんの中にも成績が上がらずに悩むことがある人もいでしょう。しかし、皆さんには家族、友だち、先生、先輩がついています。どんなに辛くても諦めず、しっかり目標に向かって勉強を頑張ってください。まずは英語です。単語は頭に詰め込むことが苦手な人もいます。私もその一人です。私は長文に出てきた単語でわからなかつ

たものに印をつけ、その単語を調べまわっていました。長文を読むにはスピードが必要です。そのためにも単語力を身につけておきましょう。文法や整序問題は基礎力がとても大切になってきます。今のうちからやるのが重要です。次に国語です。私の場合、現代文が三年生からセンター試験直前頃まで本当に成績が上がらず、読みたくなくなることさえありました。しかし、どんなに嫌になっても読むことをやめてはいけません。読むのをやめてしまうと、読む速度や読解力が落ちてしまいます。だから成績が上がらないときもコツコツ読んでください。また古典や漢文などは安定して点数が取れる分野だと思います。単語帳や構文の基礎を身につけておくと良いです。社会は暗記しようと思うよりは時代の流れを理解することが重要です。一年生の頃から暗記する勉強方法をしてきた私にとって一から理解することを始めたことは大変でした。だから暗記の勉強方法をしている人は変えた方がいいと思います。文Ⅱの人はさらに理系科目も必要となってきます。私は数ⅡBが苦手な勉強をやめてしまおうと思ったこともありました。しかし、どの科目であっても勉強をやめてしまうことは絶対にいけないことです。やれるだけやってみてください。

ここまで私の経験を書いてきました。私の勉強場所は学校で、最大限利用させてもらいました。私は図書館へ行くことが面倒になってしまうので、わたしのような人は学校で勉強することをお勧めします。一人で勉強していると、「こんな勉強必要なのかな」とか本当に「受験勉強終わるのかな」とか他のことが気になってしまいます。学校でみんなと勉強していると考えず集中できるはずですよ。どんなに長く感じても1年で終わる受験勉強です。自分の限界を超えるくらい最大限努力し、合格をつかみ、1年後、皆さんが笑顔でいられることを願っています。

1年間の受験生を終えて振り返ってみると本当に辛く、苦しく、過酷な1年でした。しかし、終わってみるとあっという間で、今は充実感に満ちあふれていて、良い経験になったなと思います。こんな自分ですが何個か自分のためになったことを伝えたいと思います。

◆「ボルトに勝つためにはどうしたらよいか？」

これは、3年生の初めごろ、進路講演会で言われた言葉です。もちろん、陸上の世界ではほぼ不可能でしょう。しかし、受験では“フライング”が使えます。もたもたしている相手を置いて早くスタートを切るか、前に行く相手の背中を見てからスタートをするか、それは自分次第です。実際、自分は2年生の冬休み、春休みにかけてエンジンをかけ始めていました。同じ様な脚力、体力、忍耐力をもつ同じ歳の高校生に確実に勝つ自信はありますか？そのためにもフライングは違反ではなく、最善の策なのです。

◆「模試の結果で一喜一憂するな！！」

これも講演会で言われた言葉ですが、たしかに自分も一喜一憂していました。しかし、受験を終えた今、振り返ってみると本当に無駄なことだったと思います。模試は、自分の成績、どこが苦手なのか、を確認するためのものであり、たとえA判定でも合格するとは限りません。むしろ、早い段階でいい判定をもらっている人ほど要注意です。心のどこかで安心感を得て、勉強しなくても受かると勝手に思い込んでいませんか？後ろから全速力で追いかけてくる人のことをしっかり頭に入れておいてください。

◆「夜型より、朝型」

よくCM等で夜食を受験生に出すものを見ますが、自分自身、受験生生活を通して夜食は一度も食べていません。遅くても12時半には寝て、5時に起きるという生活を続けていました。自分は家から学校が近いので5時～6時半まで勉強し、7時半から学校で朝学をしました。人の少ない廊下で勉強することで気が散ることもありませんでした。なぜ朝型のほうが良いのか、夜のほうが勉強している気になる、と思うかもしれませんが、夜は、テレビ、眠気、など勉強に邪魔なものが数多くあり、脳が

活発に記憶を定着させる時間に起きているのはとてももったいないことです。

◆「夏休みが1番の正念場」

約40日夏休みがありますが、高校3年生の夏休みは休みではありません。1, 2年のような夏休みだと思っている人は今すぐにその考えを改めてください。3年生の夏休みの本当の休みは1週間ほど。それ以外は毎日、朝から夕方まで補習があります。当然、家に帰っても勉強漬けです。この40日間だらけずに最後までやりきれぬ人は受験も乗り越えることができますと思います。

◆「毎日、英語に触れる」

自分は英語が得意教科だったのでとにかくもっともっと伸ばしたいと思っていました。そこで実践したことがいくつかあります。まず英単語1日50個、長文1題(音読もする)です。とくに英単語は毎日やらないと頭から抜けるのを実感しました。覚え方として、先生に勧められたものですが、いらぬ紙に覚えたい単語を発音しながら書きまくって、頭の中でその物をイメージするというのをしました。たとえばappleならappleと書き、発音して、頭の中でリンゴをイメージします。音読も先生に勧められて試し、リスニングにもとても役立ち、やってよかったです。

最後になりますが、自分が辛いときに助けられた言葉を送って終わりたいと思います。

「けわしくとも最高の結果が待ってる そんな道がお前の前にある」

最後まで諦めず、高い目標に向かって、全力で駆け抜けてください。

57 福井県立大学 経済学部 経済学科合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

私は後期試験で国公立大学に合格することができました。後期試験は、3月中旬にあり、その頃は周りの友達のほとんどが受験を終えて遊んでいる時期です。その状況の中で勉強しなくてはならない日々が続き、もうやめたい、私立に決めてしまおうかと何度も思いました。しかし、私が最後まで頑張りが続けたのは先生方がずっと励ましてくださったからです。最後の試験が終わった時の達成感は忘れられないものとなりました。さらに合格したときは諦めずに頑張った本当によかったと思いました。

私は受験においては妥協しないことが大切だと思います。もし私が途中で諦めて受験をやめてしまっていたら、きっと後悔していました。だから後輩のみなさんにも妥協せず後悔のない受験をしてほしいです。多少のチャレンジならどんどんすべきです。今年1年間は不安になったり悩んだりすることも多いと思いますが、そういうときは先生方を頼ってみてください。いろいろな先生に相談すればそれだけたくさんのアドバイスがもらえ、勇気づけてもらえると思います。

58 愛知教育大学 中等教育教員養成課程 社会専攻合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

2年生の終わり頃から「もうすぐ受験生なんだからそれ相応の自覚を持ちなさい！」など色々なところで言われ、大勢の人たちが受験生にはまだなりたくないなんて思っているかもしれません。実際、僕もそんな気分がなかなか抜けず、何度か進路主任の先生から警告を受けることがありました。そんな気分のままだとなかなか勉強に専念できないので、まずは受験に対する消極的な気持ちを払拭することから始めましょう。先は長いからです。

まず英語は、単語を一定のペースを保って頭に入れる努力をしましょう。くじけそうになっても続けることが大切です。単語がだいたい押さえられればセンターレベルの長文は読めるようになりますが、あくまでも単語力は長文力と別のものだと思うので長文を読む練習もして下さい。文法についてもネクステを単語同様進めましょう。文法は、文法問題ではもちろん、長文読解、短文和訳、整序問題などあらゆる問題で重要な基礎となっていることが分かるはずです。

国語については一番安定しづらい科目なので悩む人は多いかもしれません。それでも読み続けましょう。読まなければ今以上に読解力が落ちてしまいます。まず現代文は制限時間を設定し、問題にあ

たることが後々とても重要になってくるので早めから時間内に本文の論理構造を見抜く練習をしましょう。漢文は個人的に最も安定しやすい分野だと思います。学校配布の漢文必携はコアな知識を含むので自分で一冊参考書を決めて2～3周した後問題にあたれば得点が安定してくるでしょう。ちなみに僕は、「漢文早覚え即答法」という参考書を使いました。古文は個人的にはかなり骨の折れる分野だと思います。早めから古文常識を蓄えておきましょう。

文系理科は範囲が他科目に比べ狭いので早めに入試を意識した演習をしましょう。皆さんの場合は前年度のセンター過去問があるので難易度を予め確認しておく効果的だと思います。

社会科は、特に文系で歴史が必要とされることが多く、暗記すべき圧倒的な情報量の多さで頓挫してしまう人も多いと思います。分量の多さ故にやみくもな学習だと知識が定着しづらいので連想ゲームのように時代、事件、人物などを有機的に結びつけられるようにしましょう。「歴史は暗記科目だ」よくそう言われますが、暗記よりもむしろ「理由」を大切にしましょう。歴史を形づくるのは時代は違えど人間です。そこには様々な思惑があります。したがってすべての事件、戦争には理由があります。歴史的事象の理由を知ることによってAだからBというように、より単純に歴史を眺めることができるようになるので、理由を意識した社会科の学習は知識の定着を確かなものにし、論述などの問題にも立ち向かえるだけの歴史の眺め方を養成させてくれると思います。

各科目について僕なりの意見を挙げていきましたが受験生活はとても長く感じ、早くやめたい。ひたすらそう思っていました。しかし頑張っている友人の姿、応援してくださる先生方、部活の後輩、そんな色々な要素を含んだ全体としての南高校の雰囲気がとても良い刺激になりました。くじけそうになるときが何度もあると思いますが、そんな時はどうぞ南高校の「風」にあたってみて下さい。きっと皆さんの支えになってくれる人の多さを実感できるでしょう。皆さんの1年後の「成功」を心から祈っています。

59 岐阜大学 地域科学学部合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

私は1年生、2年生のときは大学のことをあまり考えず、勉強にしっかりと取り組めていませんでした。そのツケが3年生のときに大きな重みとなりました。コツコツと真面目に1年生の時から勉強しておけば良かったと、3年生になったときに強く思いました。後輩の皆さんには早い段階からコツコツと勉強、特に復習をしてほしいと思います。

さて、私がこの1年で特に有用だと感じた勉強法の一部を記したいと思います。

1つ目は「音読」です。英語で特に有効だと思います(もちろん、他の教科でも)。私はインターネットで音読のやり方を調べて、2年生から3年生に向けての春休みに長文1つに対し30回を目標にして音読をして、今まで苦手だった英語の長文があまり詰まらずに読めるようになりました。また、単語を覚えるときにも有効です。センター試験では発音・アクセント問題もあるので、発音やアクセントの位置にも注意しながら音読して単語を覚えると、効率的です。

2つ目は「模試のやり直し」です。私は数学で一番効果が感じられました。模試を何度もやっているとわかると思いますが、結構同じような問題が出ます。模試でできなかった分野をできるようにすることが得点アップに繋がっていきます。3年生になると模試をたくさん受けると思いますが、是非全ての模試を一回ずつはやり直してください。模試には重要事項が本当にたくさん載っているので、解説をしっかり読んでものにしていけば効率的に学習が進められると思います。

上記の勉強法は先生から聞いた方法だったり、インターネット等を利用して調べたりした方法です。他にも、古典の助動詞は歌で覚える、英単語・古典単語は歩きながら覚えるなど、様々な方法を試しました。勉強に行き詰ったときは、先生や先輩に相談したり自分で調べたりして自分に合った勉強法を見つけるのも効果的だと思います。

受験勉強は本当につらかったです。後輩の皆さんもそう感じると思います。ですが、受験が終わった今、逃げ出さず頑張った良かったと強く感じます。後輩の皆さんも受験に逃げ腰にならず、精一杯

頑張ってください！

60 三重大学 人文学部 法律経済学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

「自分は、受験生になる。」と意識するようになったのは、先輩の進学先を聞いたときでした。それまで自分は志望大学を決めておらず、部活を中心に高校生活を送っていました。受験がどういものかをリアルに聞いた自分は、「このままでは、どこにも進学できないかもしれない。」と思い、暗記ものを中心に、基礎から徹底的に知識を入れていきました。いわゆる一夜漬けのような勉強しかしてこなかった自分にとって、初めは辛かったですが、数を重ねていくうちに慣れていきました。受験序盤は、ひたすら基礎固めすることに尽きると思います。センター試験で落としてはいけない問題を確実に拾う意味でもあり、後から余計に時間を割かないようにするためでもあります。凡ミスはとても悔しいです。

“タイマー”は受験生活の中で欠かせないアイテムでした。自分が使い始めたのは夏休みで、もう少し早く取り入れたら良かったと思います。タイマーのおかげで、勉強の質が上がり、常に時間を意識して問題に取り組む事ができるようになりました。

それと、友達存在も大きかったです。悩み事を聞いてもらうと、実は友達も似たような事で悩んだりしていて、気持ちが楽になったこともありました。また競い合ったりもして、互いに励ましあいながら勉強していました。モチベーションを維持することができたので良かったと思います。

1年間の中で、望んでいた結果が出ず、悔しいときが何度もありました。自分はその度ごとに、模試の良くない結果を見ていた記憶が一番強く残っています。良くない結果を見返すと、余計に落ち込んでしまうのでは、と思う人もいるかもしれませんが、「自分は何が足りないか」を自問自答したら、自然とやる気が出ました。多分そこで潰れていたら、今の自分はいなかったと思います。つまりいたときこそ、成長材料だと自分は考えます。おかげで自分は冬休みぐらいから、飛躍的に点数が上がりました。「自分なら志望大学に受かるはず」と自分に自信を持って勉強を続けていけば、きっとうまくいくはずです。目標目指して努力してください。

61 高知県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

まず始めに、私の受験に対しての姿勢はあまり良いものではありませんでした。なので、私のしたミスを後輩にしてほしくないの、アドバイスを送りたいと思います。1つ目は初めからギアを上げすぎてしまったということです。3年生になるまで私はあまり勉強していませんでした。そして、3年生になり「やるぞ！」と気合いをいれていきなり毎日部活が終わってから4時間勉強するようになりました。しかし、今までほとんど勉強をしていなかった私は7月頃に甘えが出てしまい、少しずつ勉強時間が減るようになってしまいました。そしてそのまま時間が過ぎ、気付いたら夏休みが終わっていました。もしも、私のように3年生になるまでほとんど勉強をしていない人がいるなら、まずは勉強の習慣をつけることをお勧めします。習慣をつけて、少しずつ時間を増やしていけば大丈夫です。いきなり勉強時間を増やしても今までの甘えが出てしまい、途中でやめてしまう可能性があるからです。私は習慣さえつければ勉強をすることが当たり前だと思い苦痛が減る感じました。

2つ目は苦手教科の克服です。私は英語が大の苦手でした。3年生になってから先生方に「苦手科目と各科目の基礎は夏休みが終わるまでにしっかり勉強しておけ」と言われていました。しかし私は、はじめこそ英語と向き合っていました途中で一度挫折してしまい、他の教科へ逃げていました。そのせいで夏休みが終わるまでに英単語を覚えることもできず、結果的に最後の最後まで英語に苦しめられることになってしまいました。誰しもが苦手教科はあると思います。その苦手教科を得意教科にする必要はないです。せめて他の教科と同じくらいの学力をつけておくべきだったと私は思いました。

3つ目はスマホの使い方です。私はスマホに依存しており、なにか調べるわけでもなくただ漠然と

スマホを触る時間がありました。この時間が本当に無駄であったと今も後悔しています。時間を決めて使っていればこのような無駄な時間を過ごすことは無かったのではないかと今は思っています。

私は結果として国公立大学に合格できましたが、それは一度も休まず学校で授業を受けてきたからだと思っています。なのでしっかりと学校には通って先生の話聞き、積極的に質問してください。私のように「あの時勉強しておけば志望校に行けたのに…」と後輩の皆さんが後悔しないように、私達のアドバイスを生かして頑張ってくれば嬉しいです。

62 岐阜大学 教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育講座合格 /

34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

僕が受験を経験して伝えたいことや反省点がいくつかあります。

まず、苦手科目・分野を1日でも早く得意科目・分野にすることです。苦手なものはなかなか手をつける気が起こらなかったり、時間のかかることかと思いますが、これを秋やセンター試験前まで放っておいたら、後々どうなるかは想像できますよね？また、得意科目も週3~4時間確保することもお勧めします。

次に、朝学はフル活用して下さい。僕は7時過ぎに学校に来て、朝のSTまでの1時間は平日毎日やっていました。朝が早いと眠くなるので、朝学では数学など手をよく動かす勉強をやった方がいいと思います。

次に、模試を次の勉強の指針にして下さい。模試の結果が返ってきて、当然自分の偏差値、志望大学の判定などを見ると思いますが、中をめぐってみると各科目のパラメータが記録されており、出題分野も書いてあるので、グラフの凹んでいる部分を見つけ出して対策をするというのも、模試の目的の1つです。

次に、志望大学に合格するために、志望大学のセンターのボーダー+30~40点を模試で取ることを目標にして下さい。もちろん2次試験の対策も大事だと思いますが、最近のセンター試験はどれか1科目以上は模試以上に難しくなる科目があり(今回は倫理・数学ⅡB)、志望大学をほとんどの人が下げていました(自分もその一人ですが)。志望大学を変えて、今までの対策していたところと変わって戸惑い、その大学まで落ちてしまうことの無いようにしてほしいです。

最後に、睡眠時間を6時間取り、自分に自信を持ってください。これは僕が今一番伝えたいことです。どうか悔いのない1年になるよう、僕からのアドバイスを参考にして、頑張ってください！

63 三重大学 人文学部 法律経済学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

僕は受験生として心掛けたことがあります。それは「常に気持ちは前向きに」ということです。

気持ちと頭の回転はリンクしていると僕は思っているので、少しでも気持ちが沈んでいると解ける問題も解けません。逆に気持ちが前向きだと難しい問題でも解き方が導き出せるはずで、たとえ解けなくても、「本番でも解けなかったらどうしよう」とネガティブに考えるのではなく、「本番前に分かって良かった。本番ではしくじらない」と考え決意すれば、その後の勉強も良い方向へと進んでいくはずで、実際僕は試験前日にネガティブな考えが何度も何度もよぎりましたが、先生方の激励や1年間やってきたことを思い出し「先生も言ってるし、大丈夫だ」と思うことで、試験当日は気持ちに余裕ができ、合格出来ました。

最後に、分からないことがあれば先生にどんどん頼ることをお勧めします。先生に「またお前か」と言われるくらいが丁度良いです。後悔だけはしないように、1年後の春に皆さんの晴れた表情が見られる事を願っています。

受験で大切なことは、授業と疑問をなくすことだと思います。入試で授業や補習で取り扱った問題ができることはよくあります。実際私は1、2年生の時にやった漢文が入試で出ました。授業中、寝ていたり他のことをやっている人もいると思いますが、とてももったいないと思います。予習をしっかりやって、分からないところを授業で聞き、それでも分からない所を先生に聞きに行く。そうすれば、自分で買った問題集をやるよりも力がつくと思います。小さなノートに自分の分からない所や、覚えていないことをまとめていつでも見られるようにしておくことがオススメです。入試の時、持っていくだけで安心することができます。

また、英語は点数が伸びるまで時間がかかるので、早いうちに手をつけるのが大切です。受験勉強で何をすればいいのかわからない人は単語帳や熟語、文法をしっかりやる所から始めるといいです。今から始めても受験ギリギリまで伸びないかもしれません。でも、センター当日に今までとったことのないような点数をとる事ができるかもしれません。私はセンター演習でも思うように点が取れず、悩んでいました。勉強しているのにどんどん点数が悪くなって、焦りました。でも、センター当日に今までよりも良い点数がとれました。ですので、皆さんも最後まで伸びる可能性は十分にあるので、自信を持って頑張ってください。

最後に、受験は団体戦です。友達と励まし合って、つらい受験を乗り切ってください。やる気が出ないときは、友達に今から勉強する宣言をしてもいいと思います。私は友達と勉強する前に、勉強する内容をメールで送りあっていました。そうすることで、宣言したからやらないと、思ったり、友達がやっているならやろうと思ったりすることができました。一人では怠けてしまうという人は、是非試して下さい。ポイントはメールを送られた方は返信しないということです。返信すると続いてしまうので、逆効果になってしまいます。また、南高には頼れる先生がたくさんいます。困ったり、悩んだりした時はどんどん先生方に頼ってしまってもいいと思います。受験は団体戦です。みんなで協力し、励まし合って頑張ってください。皆さんの合格を心より祈っています。

私が受験勉強をするにあたって大事だと思うことは、生活のリズムを変えないこと、集中できる場所を見つけることです。私は1、2年の時から朝補習を受けていました。そのおかげで、朝から勉強する習慣ができて、3年生になっても1年間朝学を続けることができました。私は、夜になかなか集中できなかったの、朝勉強することしました。学校が終わった後や休日は、ほとんど図書館に行って勉強しました。受験勉強はだらだら勉強していたり、集中していなかったら、やっても無駄で時間も足りません。集中できる時間と場所を早く見つけてください。

普段からの定期テストや小テストでは、気を抜かずに全力で取り組みました。しかし、模試では結果が出ず、最後の模試でもC判定やD判定でとても悩みました。センター試験では、得意の数学でケアレスミスをしてしまい、今までの模試やセンター演習でも取ったことのない点数でかなり落ち込みました。数学は一問のミスが点数に大きな影響を与えます。どんな単純で簡単な問題でも必ず見直しはしてください。

センターリサーチでの判定では、第一志望校はD判定で諦め、第二志望校はC判定でしたが挑戦することにしました。二次試験までに私立受験がありましたが、二次の勉強と私立の勉強の両方を勉強する余裕と時間が私はなかったため、目標である国公立の勉強に集中しました。私立の第一志望である南山大学は落ちてしまい、やはり自信を失いかけてましたが、母に「国公立に受かるための勉強をしてきてるんだから、落ち込む必要はない。」と言われ、再び二次の勉強に集中しました。そして、国公立で合格がもらえました。だからセンターの結果や私立の結果が悪くてもその悔しさをバネにして目標に向かって諦めないでください！

不安な日々が続くと思いますが、授業や補習を休まず、まじめにコツコツ勉強し続けていれば必ず実力はついていきます。授業、補習はすべて合格に繋がる内容です。学ぶことはすべて自分のものにするという気持ちで真剣に取り組んでください。最後まで絶対にあきらめず、自分を信じて頑張ってください。応援しています。

66 名古屋市立大学 人文社会学部 現代社会学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

私が受験を通して、大切だと感じたことは、目標を高く設定して勉強することです。後輩のみなさんにはぜひ、今の自分のレベルよりも上の大学を目指してもらいたいと思います。実際私も、高いレベルの大学を目標にして勉強しました。最初は正直、自信がなかったので、あまり乗り気ではありませんでしたが、大学の情報を調べたり、模試やテストの結果から徐々に力がついてきているのを実感したりしていくうちにその大学に行きたいという気持ちも大きくなり、本気で目指して勉強に取り組むようになりました。目標が明確になり、自分がやるべきことははっきりしたので、気持ちを切らさずに勉強できました。その結果、センター試験では自己最高点を取ることができました。しかしその得点では目標の大学には届かず、第二志望としていた今の大学を受験することに決めました。第一志望を諦めなければならないことはとても悔しくて、すぐに気持ちを切り替えることはなかなかできませんでした。さらに言うと、受験を決めた大学のセンター自己採点の結果もC判定という、決して安心して出願できるような判定ではありませんでした。第二志望だった大学にも受からないかもしれない…。そんな不安でいっぱいでした。それでも私が今の大学に合格できたのは、やはりこれまで高い目標を目指して頑張ってきたからだったと思います。それまでは無謀だと思っていた大学に思い切って挑戦し、人一倍努力してきたのだからという自信や一種のプライドのようなものが原動力となり、絶対に合格してやるという強い気持ちを持って最後まで頑張ることができました。振り返ってみると、もし最初から今の大学を目指していたり、途中で投げ出して第一志望を変えたりしていたら、きっと合格することはできなかつたろうと思います。高い目標を掲げ、妥協を許さない環境を自分で作って勉強できたことがこの合格に繋がったのだと確信しています。

私は今まで、何か高い目標に向かって頑張るような積極的な人間ではありませんでしたが、この1年を通して大きく成長できたような気がします。受験は、今まで知らなかったような自分に出会える絶好の機会です。最初から無理だと諦めたり、途中で逃げ出したりして、その機会を逃すことのないように。上を目指し、挑戦する気持ちを常に持ってください。辛いことも苦しいことももちろんあるけれど、その分合格できたときの喜びは本当に大きいです。もし、くじけそうになったら、家族や先生、友達を頼ってみてください。きっとみなさんの力になってくれるはずです。自分の目標を失うことのないように、最後まで頑張ってください。応援しています。

67 徳島大学 工学部 光応用学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

僕は1, 2年のときにそんなに勉強をしてこなかったのですが、3年の最初の模試は本当にひどい結果でした。特に数学は2年生の途中まで真剣にやってなかったので基礎のところしかできませんでした。3年生になり漠然と勉強をしようとしたのですが、何をしてもよいかまずわからず途方にくれる毎日。そこでまずは与えられた課題はやろうと思いました。特に数学と英語の単語・熟語はほぼ毎日触れるようにしていました。

5月頃、同じクラスの子と進路室の前に残って勉強するようになり、少しずつ勉強する癖をつけるようにしてきました。今思えばその残って勉強する日々が自分にプラスになったと思います。家でやろうとしたり、図書館でやってみたり、ファミレスでやってみたり、いろんな場所で勉強した結果、学校でやるのが自分には一番合っていました。

あと一宮南高校にはいい先生がたくさんいます。それぞれにあった勉強時間、勉強方法があると思

います。先生たちをうまく利用して自分にあった勉強の仕方を見つけてみてください。

受験勉強は団体戦です。部活を引退してからは教室の雰囲気が変わり、周りのみんなが勉強している環境にいて嫌でも受験生になることができます。実際、1、2年のときほとんど勉強してなかった僕ですら勉強したので、そういう雰囲気が自然とできる一宮南高校はとてもいい学校だと思います。

最後に、僕は勉強が嫌いでした。今も嫌いです。でも第一希望に受かりたいという気持ちだけで1年間勉強を続けることができました。でも3年の1年間を振り返ってみるとあっという間です。みなさんも、志望校を決めたら、誘惑に負けず、その目標に向かって頑張ってください。行きたい大学に受かった後の3月は気持ちよく遊び倒せます。

68 山口大学 工学部 応用化学学科合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

受験することにおいて何よりも大切だと思ったのは授業でした。授業中に居眠りしたり、内職したりする人を見かけましたが、それはすごくもったいないことです。世の中最初から知識で溢れている人間はいません。だからこそ、知識を身に付け、自分の得意・不得意を理解する機会である授業を有効活用していただきたいです。

また、「定期テストだからいいや」などと言って前日に一夜漬けしてその場しのぎのようにしている人は要注意です。センター試験では教科書などの基本的なことを問われるため、各単元での理解力を深める機会が必要になります。定期テストを各単元の復習になると思うと自然にはかどるはずですが、まだ自分がどのような方向に行きたいか分からない人は興味のあるものに沿って一度進路について考えてみてはどうですか？また、すでに進みたい方向がある程度決まっても「何か面倒臭そう」「うわ、苦手科目あるじゃん」などぼやくことがあるでしょう。その時点で諦めてしまはいけません。今はできなくても良いです。少しずつでいいから、自分の嫌なことから逃げないでほしいです。それに、気持ちの持ちようでも進路は変わってしまいます。僕は菓関係の仕事に就きたかったので国公立大学の薬学部に入ろうと考えていましたが現実には厳しく辛いものでした。しかし、部活引退後は朝早く学校に来て自習、業後は補習、補習がないときは最終下校時刻ぎりぎりまで自習、さらには公共の図書館の閉館時間まで自習という生活を毎日欠かさず送ってきました。たとえ模試で悪い成績とって落ち込んでも、分からな過ぎてイライラしても。僕は自分で言うのも何ですが粘り強い方でした。自分的には後悔しなくなかったのですが諦めたくない思いが強かったからだと思います。困難にぶつかってしまったら先生や友達に質問すればなんとかなるはずですが。特に南高の先生は何でも知ってるはずなのでどんどん話しかけて仲良くなってみてください。大学についてなど様々な情報も得られるでしょう。最後に、僕の前に分からない問題が立ち上がった時に役に立った言葉を教えます。“It’s a piece of cake!”これは「楽勝だよ！」という意味で、どんなことにも強気でいてほしいという思いから紹介しました。将来の夢は人それぞれですが、後悔しないように粘って、自分を信じて我が道を行け！

69 金沢大学 理工学部 環境デザイン学科合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

学校での授業や補習を休むことなく、言われた通りの予習をやれば基礎は大丈夫です。応用に対応していくには、それからどれだけ量を解いて問題になれるかが大事だからです。特に理系の人で、数学の問題は難しそうでも解き方さえわかればすぐ解けるので、問題を多く解くことが一番の数学のできるようになる方法です。自分の場合チャートの星3以上の問題は全部ときました。苦手教科から逃げると後悔すると思います。自分は英語が苦手な逃げようと思いましたが自分に負けたくないと思い毎日続けてやりました。結果として捨てないで良かったと思っています。困ったときはとりあえず先生に相談するのが一番だと思います。南高の先生は生徒を一番に考えとても頼りになります。早い段階で行きたい大学を見つけると勉強へのやる気もでていいです。

70 兵庫県立大学 工学部 応用化学工学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

私は一番行きたいと思っていた大学に、合格できませんでした。試験本番、問題に全く歯が立たなかったこと、力を発揮できなかったことが悔しくて、終了後、その場でぼろぼろと泣きました。「今まで過去問をたくさん解いてきたのに、解ける問題も多くなってきたのに、どうして本番はこんな風に終わってしまったんだろう。」という思いで涙が止まりませんでした。しかし、この悔しさが私にとってバネになりました。前期試験の可否結果が出るまで、ドキドキして勉強が手につかない、ということはもちろんありません。ダメだったということを確認していたから。それが良いのか悪いのかはわかりませんが…。前期試験の次の日から後期試験の前日まで、すべてを勉強に注いだと思います。「絶対受かってやる。もう二度とあんな思いはしたくない。」執念に近いような気持ちでした。その強い思いのおかげか、後期試験で兵庫県立大学に合格することができました。

皆さんも、きっといくつもの大学を受験すると思います。私が皆さんにお伝えできることとはひとつだけです。最後の最後まで、諦めないでください。もしかしたら、センター試験で思うように点数がとれないかもしれません。試験の当日、あまりにも解けない教科があるかもしれません。それでも、自分の持っているチャンスを捨てたりしないでください。最後までやりきれたとき、その力は、高校を卒業してからも大きな強みになると思います。そして最後に、私は今でも、第一志望だった大学に行きたかったなあ…と思いつき返すときがあります。ですから、私は諦めません。四年後、第一志望であった大学の大学院か、もしくはそのとき自分が目指す大学院に、必ず行ってみせます。皆さんにも、まだ時間があります。ねばり強い心をもって、最後まで頑張ってください！

71 名古屋工業大学 工学部 電気電子学科合格

同志社大学 理工学部 電気工学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

受験生としてまず、できるだけ早く自分が行きたい大学、学部などの目標を決めるべきだと思います。理由はもちろん大学によって受験教科が違ったり、力を入れるべき教科が違うというのもあるけど、やはり明確な目標があるほうがより勉強がはかどります。自分は、特に行きたい大学もなくなるとなく勉強しているうちに結構時間が経ってしまいました。だけど、ある模試の結果を見て先生にひとつ大学をすすめられて家で大学について調べたり、友達に聞いているうちにそこへ行きたいという気持ちになりました。そこは自分のレベルより高めの大学だったし、目標が明確になったことで、それまで以上に勉強に取り組むことができました。だから、少しでも時間を無駄にしないように、できるだけ早く目標となる大学を見つけ受験勉強に取り組んでほしいです。目標とする大学といっても“今のレベルで行ける大学”ではあまり意味がないと思います“今の自分より少しレベルの高い大学”を見つけてこそ勉強がはかどると思います。

勉強に関して、自分は特別なことをした記憶はありません。そのかわり学校で出された課題や授業、補習の予習復習をしっかりとやりました。予習で問題を解き授業で解説というスタイルが増えてくるので予習をしないと授業に出る意味が半減するし、自分で解いてこそより学力が定着すると思います。また、復習といっても分からなかったところを少し見直すくらいでいいと思います。もちろんプラス α に他の教材をやるのも悪いとは思わないけど最低限の事をやってこそプラス α が生きてきます。だからまず最低限の事を普通にできるようにしてください。あと分からないところは、友達でも先生にでも自分が納得できるまでとことん質問すべきです。

そして、受験が後期まで続くとかなりきついです。合格した人はどんどん補習にこなくなるし、精神的に追い詰められました。だけど、最後まで続けることが大切です。最後まであきらめずにやり遂げた人こそが合格できると思います。また、もし前期がダメで私立が受かっていたとしても“私立でいいや”と後期をやめるのではなく、後期試験まで受け、行ける大学の選択肢を多く持った上で自分のいく大学を選択すべきだと思います。その結果どの大学に行くことになろうとも“後期までやり遂げ

た”という事実が達成感となり、また今後の自信にもつながるはずです。途中であきらめることなく最後までやり遂げてください。

最後に、自分は“努力は必ず報われる”や“勉強は裏切らない”という言葉があまり好きじゃないです。受験はそんなに甘くないです。努力すればだれでも合格できるならほとんどの人が合格すると思います。だけど、実際は努力しても不合格となる人もいます。だけど、合格する人たちはそれに見合った努力、勉強を最後まであきらめずにやり遂げた人達です。だから、自分を信じて目標に向かって最後まであきらめることなく頑張ってください。

72 愛知教育大学 初等教育教員養成課程 数学選修合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

正直自分が勉強し始めたのは高校三年の南高祭が終わったときぐらいでした。部活が夏に終わったというのは言い訳になってしまうのですが、切り替えができませんでした。自分はこれといった勉強はしていませんが、学校の課題と、予習・復習はしっかりとやっていました。最悪これだけしっかりとやるだけでも変わってくると思います。実は僕、最後にうけた模試までE判定でした。はじめの頃は、みんなと比べて「あー、みんなこんなもんか！安心安心。」とか思っていました。もうそのときは焦って勉強を一生懸命にやるようになりました。これは結構危ない例で、皆さんには3年生になったら早めに勉強するクセを身に付けてほしいと思います。引退が夏までかかる部活動などは、疲れて勉強できないときがあるかもしれませんが、次の日の予習をしっかりとやるだけでも効果はあります。自分はその前にプラスして英単語を寝る前30分にやっていました。理系の人は英語が苦手に思う人が多いと思うのですが、単語を覚えるだけでだいぶ変わってきます。

あと目標は高くしましょう。「あの大学でいいや〜」みたいに思っただけでサボっていると後で痛い目をみます。辛いことが今後増えてくるとは思いますがそのときは周りにいるクラスメイトと励ましあって乗り切ってください。先生も上手く活用しましょう。いろんなアドバイスをくれます。最後に僕の支えになった言葉を。Never Give Up! Never Too Late!

諦めるな！まだ遅くない！

73 岐阜大学 医学部 看護学科合格 / 34 回生 2015 年(平成 26 年度)卒

私はマーク形式がとても苦手でした。4月からずっと目標にしていた第一志望校は記述の模試ではB判定がつくこともありましたが、でもマーク模試ではずっとE判定。11月のマーク模試なんか今までの最低点。でも先輩方の進路の手引きの合格体験談には「最後まで諦めなければ大丈夫！」と書いてあったから、「大丈夫、大丈夫」と自分に言い聞かせて勉強しました。やっと12月センタープレでそのときの私にとっては自己ベストがでましたが、それでもまだまだボーダーよりずっと低かったです。その後からセンターまでは「センター演習でなんとかかなる、諦めなければ大丈夫なはず！」と進路の手引きの先輩方の体験を何度も読み返し、自分に言い聞かせていました。でもセンターが終わって、自宅で自己採点をしたら第一志望にしていた大学のボーダーマイナス60点。出願すらできない、絶望的でした。いままでなんだったんだろうと思い、悔し涙しか出てきませんでした。その一週間はずっと泣いていたし、無気力で何もしたくありませんでした。でも、クラスのみんなは二次試験に向けて机に向かっていました。自分だけ泣いて逃げたらいけないと強く思いました。岐阜大学のボーダーにも足りず、C判定。二次試験はどちらかと言えば得意な記述だから「絶対逆転する」という気持ちでがんばりました。でも切り替えられたのは、センターから一週間以上経ってました。ずっと志望していた大学には出願すらできず、悔しかったけれど「最後まであきらめなければ大丈夫！」という先輩の言葉はセンターのことだけではなく、二次試験までのことかなと思います。後輩の応援やセンター当日の先生の応援は本当に支えになりました。冷静になってセンターで失敗した理由を考えてみると、化学と倫政が間に合わなかったことだと思います。理系の方は特に化学をがんばってください。

夏が勝負だと思います！！有機や無機はやればやるほど点数が伸びると思うし、センターで得点源になると思います！！夏にやらないと、間に合いません。また、理系だと倫理や倫政をあとまわしにしがちで、11、12月に始めると間に合いません。だから、早めにすこしずつやっておいてください！！英単語はやる時間がなくなるので、4月のうちにはターゲット1500個は覚えると後が楽です！

受験生としての一年間はとても大変でした。三年生になった途端に予習の量は膨大だし、たくさんのお話を先生に要求されると思います。でも、南高の先生方についていけば、きっと志望校に合格できると思います。授業の予習や復習の時間に平日は追われてしまい、「自分の勉強ができない」と思うことも多々あると思いますが、受験に必要な問題を先生は授業で扱ってくださっているので、先生を信じてください！！困ったら先生や先輩を頼ってみてください！！クラスメイトの存在は大きいです。受験は団体戦です。クラスみんなで雰囲気をつくり、乗り越えてください！！あと、合格を報告して、先生や親や後輩など自分の周りの人が喜んでくれることを想像すると、モチベーションが上がると思います！応援しています！！

74 富山大学 理学部 地球科学学科合格

同志社大学 理工学部 環境システム学科合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

私がこの一年間で大事なと思ったこと3つ伝えたいと思います。

1つ目は、諦めないことです。私は、吹奏楽部だったので7月の終わりまで部活をやっていました。他のみんなより引退が遅いので、早めにスタートしなきゃと思って勉強を始めたつもりでしたが、引退した頃には遅れを感じました。模試もDやE判定しかなくてどうしたらいいのかなと悩んだこともありました。でも、「現役生は、入試直前まで成績が伸びる」という言葉を信じて毎日コツコツ頑張りました。しかし、センター試験では思うように結果が出ず、とても落ち込みました。諦めかけそうになったけど二次で挽回してやると思い、模試をもう一度見直し、過去問を解きながら自分のできていない穴を埋めていきました。そして、センター後D判定だった富山大に合格することができました。だから、最後まで諦めずに戦ってください。

2つ目は、先生のことを信じてついていくことです。先生たちは、大学受験を初めてする私たちと違って、沢山の卒業生をみています。だから、先生たちが薦めてくれたことはやったほうがいいし、話も聞き流さず、また、用意してくれたプリントなどは最大限に活用したほうがいいです。私が特に役に立ったと思うのは、朝学の英語の速読プリントです。なかなか覚えられなかった英単語や熟語をこのプリントの文章と一緒に覚えることで忘れにくくなったし、音読することで英文を読むのが速くなり、理解力もつきました。また、先生には、落ち込んでいるときに「大丈夫。きっと上がるから。」とか「お前ならどこへ行ってもやっていける。」などいろんな言葉をかけてくれました。先生は、頑張っている姿をちゃんと見ています。だからこそ先生の言葉や用意してくれる教材を無駄にしないで信じれば、きっと合格につながると思います。

3つ目は、生活習慣です。私は、3年生の1学期くらいまで夜型でした。朝、起きられなかったらどうしようと思って、夜にやっておくようにしていました。だから寝る時間が12時前になることはほとんどありませんでした。でも、そうすると授業中眠くなってしまいます。入試のためにもと思って早寝早起きが続けていると、朝、気持ちよく起きられるようになったし、授業中眠くなることもほとんどなくなりました。寝ている間に記憶の整理をするともいわれているし、入試のときに体調を崩さず、頭をちゃんと働かせるためにも十分に睡眠をとり、早寝早起きすることがとても大事なことだと思います。

自分を信じて最後まで頑張ってください。応援しています。

75 愛媛大学 工学部 応用化学学科合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

私は夏まで部活があり、周りより勉強が遅れてしまう不安がありました。しかし私は部活が好きで自分の意思で続けていたため、部活を勉強ができない言い訳にたくなくて予習復習はしっかりと取り組み、テスト週間では誰よりも勉強しようと思がけました。それでも部活を引退してすぐは周りとは大きく差がある気がして焦って塾に通おうとして先生に必死に止められたのを今でも覚えています。あの時はなぜ先生がそんなに反対するのかが分かりませんでした。今思うと止めてもらえて本当によかったと思っています。というのも学校の補習だけでも毎日手一杯になっていたし、先生方の進路に対するサポートはとても手厚かったからです。それに言っているのかわからないけど、塾に通っていた人はかなりの確率で受験に失敗しています。だから塾に通うよりは予習復習をまじめに取り組んだり、自分にあった勉強法を見つけ出したりすることの方が大切だと思います。また、周りに流されないこともとても大切なことです。私はよく他人と自分を比べて自分のできなさに落ち込み、焦って難しい問題に取り組んで解けなくてまた落ち込んで…ということを繰り返していました。そのため基礎がおろそかになっていた部分もあったなと後悔しています。もちろん、受験は団体戦だということに周りに同じ仲間がいるおかげで励ましあって頑張ることもできます。私自身友達の存在がとても大きかったです。しかし他人は他人、自分は自分だとしてしっかり区切って考えることができるかが受験では必要なことだと私は思います。

これから受験生を迎える皆さん、特にこれまで勉強を避けていた皆さんには想像以上に大変でつらい日々だと思います。大学受験は甘くないです。努力が必ずしも実るとはかぎりません。私も模試ではいつも散々な結果で何度泣いたか分かりません。しかし、最後に結果を残すのは自分を信じて誰よりも努力しきれた人だけです。逃げずに立ち向かってきてください。南高生全員が第一志望に合格できることを祈っています。

76 名古屋大学 工学部 電気電子情報学科合格

同志社大学 理工学部 情報システム学科合格 / 34回生 2015年(平成26年度)卒

僕の昨年の一年間は言ってしまうと、後悔を学んだ一年でした。確かに第一志望に合格し、念願叶った一年でもありました。しかし自分の弱さ、駄目さ、努力の出来なさを痛感した一年でした。母校の後輩達の、たとえ目標を達成出来なくても後悔しない進路決定が出来るためのちょっとした応援として微力ながら書かせていただきます。

僕が思うには受験生になったからには生活のリズム、自分の勉強のスタイル、この両方をなるべく早目に身につけるべきです。この先何度も何度も言われると思いますが、受験生には受験生なりの生活のリズムがあります。早く寝て余裕のある時間に起き、しっかり学校に行き授業をしっかり受ける。とても当たり前のことのようにですが、受験は如何に当たり前のことを当たり前にやるかだと思います。また、自分の勉強のスタイルと言いましたが、これこそ早く掴んでしまわないと、ズルズル時間が過ぎていってあっという間に受験目前なんてことになりかねません。早い時期に色々試してみて、「これは効率がいい！」なんて思ったらもうそれで突っ走ってみるのもいいでしょう。僕は理系ですが、正直な話脳みそは文系よりです。1年の時の文理選択の時など「数学は…詰め込もう。」などと担任の先生に言われた程です。なので、本当に書いて覚えました。勝手な思いですが、確かに全く見たことない問題を解けるのは素晴らしいことですが、全く見たことない問題を見たことある問題に変え、また更に見た瞬間に解き方が浮かぶ、といったところまで磨き上げていくことが受験勉強なのではないかと思うのです。少し脱線してしまいましたが、つまりは生活のリズムを整えること、自分の勉強のスタイルを見つけて頑張ることをお勧めしたいと思います。

前の段落で自分の勉強のスタイルが大事だと言いましたが、それは学校での授業や補習を受けていることを前提としています。ここでの授業を受ける、というのはただ座ってのんびんだらりと1時間

を過ごすことではありません。話してくださっている先生方の話を聞いて、先生方の話を理解するように努めることです。確かにあんまり得意でない教科や、得意でない先生もいるかもしれませんが、それでも先生方の話に興味を持って聞いて欲しいのです。今まで通りに授業は寝て、テスト直前になって本気を出せばなんとかなるというわけではありません。大学受験もそれで上手く行くのであれば貴方はよっぽどの天才でしょう。その点先生方は、自分自身の受験も生徒の受験も経験してきました。経験者の話が身にならないなんてことはないかと思います。まず授業を熱心に聞く、分からないところは友達と話し合ってみる、それでも分からなければ先生にみんなで聞きに行く。本当に基本的なことかもしれませんが大事なことだと思います。まだまだ書いておきたいことはたくさんありますが、おそらく先生方が話してくださるかと思います。何度も話されることというのは何に限らず大概大事なことです。またこの話か、と呆れず何度だって聞いてください。

模試には満足いく結果も不満足な結果もつてきます。周りの人たちのことも気になるでしょう。辛い時期もあるでしょう。勉強すれば受かるだなんて言いませんし、言えません。でも勉強しないと受かるものも受かりません。友人と競い合ってください。これだけは負けない！という教科を持ってください。でもそれ以外の教科も、負けていいやなんて思わないでください。捨てていい教科なんて無いと僕は思っています。

最後になりましたが、ここまで立派な話を書いてきました。しかし僕は立派な受験生ではありませんでした。これらのことは僕が1学期からやっておけば良かったと後悔していることばかりです。皆さんが納得のいく進路決定が出来ることをお祈り申し上げます。

頑張ってください！